

文章の記憶に文の意味はどれだけ影響するか: 普通の文とでたらめな文の違い

岡 哲生

はじめに

記憶する過程において、記憶するものが持つ意味がどれだけ記憶に影響するかを調べる。

文章の持つ全体のあらすじや意味は、それが分かりやすい、イメージしやすいほど、その文章の記憶を助けてくれるかどうか。

方法

Formにて、授業で取り扱ったMarkov Chainで作成された文章とそれと同等の長さの普通の文章を暗記して記入してもらう実験を行った。実験の際、文章の順番は規則性のないように設定した。最後にそれぞれ文の記憶の難易度をランキング化して答えてもらった。記憶した文の正確さとそのランキングを見て考察を導いた。

結果

8人に回答してもらいほとんどの人がMarkov Chainによって生成された文の方が覚えるのが難しいという反応を示した。これは、文の長さに関係しないことが結果に出ている。これは当たり前のように思えるが、文の長さも文の記憶を難化させる結果となった。被験者の一人は、Markov Chainで生成された文どころではなく、文の長さが記憶の要領に直接起因している結果が現れた。

結論：意味やイメージは、記憶定着を助け、文の再現をより正確にさせる。

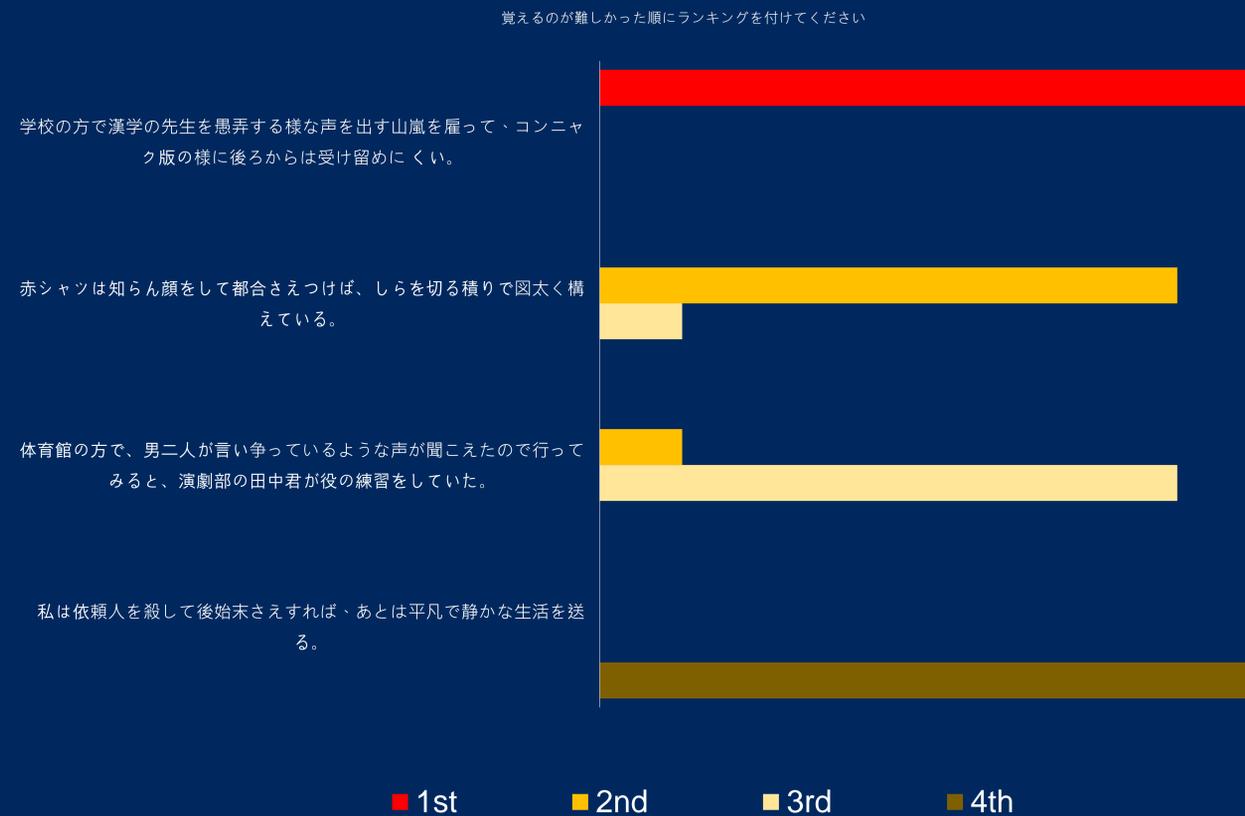


図1 記憶実験を全て終えてそれぞれの文の記憶難易度をランキング化してもらった結果を表すグラフ。8人中7人は全く同じランキングを答えた。1人だけ他の7人と違って2ndと3rdの順が逆であるが、1stと4thは同じ結果になった。

考察

人は記憶の過程で、記憶する事物とその事物が潜在的に持つ意味やイメージ、理論を結び付けて記憶することで、その要領を早く、正確にすることが分かった。

また、今回の実験で出た例外の一人は、記憶の際に、文節や単語を記号化して覚えることで効率化を図ろうとしたと思われる。記憶の難易度が文の長さによる部分が大きかったのは、その記号の数が多くなるので記憶が難しくなったのではないかと推測する。

しかし、被験者は皆、Markov Chainで生成された文と普通の文では、Markov Chainで生成された文の方が記憶するのが難しかったと回答する傾向が大きく、実験での質問の正誤も、Markov Chainで生成された文の記憶の方が、普通の文の記憶より誤りが多かった。つまり、文の意味の捉えやすさ、分かりやすさが記憶に影響すると考える。

おわりに

文の持つ意味やストーリー性は、記憶に関して影響を与えることが分かった。その影響は、意味やストーリー性が分かりやすいと記憶の際にそれらが手助けしてくれるというものだと思われる。Markov Chainで生成された文は何となく読めるが、意味がつかみづらいという意見が授業中に出了たので、「意味」が今回最も比べるべき焦点と考えて考察した。

文献

授業教材より
ling-turing-single2023 Task Sheet:
Linguistics B 「第2回: チューリングとチューリングマシン」